

研究課題名	乳癌幹細胞および制御性 T 細胞の定量化、スフェロイド培養による新たな薬物療法の効果予測
研究責任者名	原爆放射線医科学研究所腫瘍外科 岡田 守人
研究期間	2019年6月24日(倫理委員会承認後)～2023年3月31日
対象者	本研究について既に文書にて同意済みの研究対象者の方
<p>がん幹細胞は抗がん剤や放射線に抵抗性を示すとされており、がん幹細胞に対して有効な治療をいかに行うかが鍵となります。本研究では、乳がんの元となる乳がん幹細胞を培養し調べることで</p> <p>がん幹細胞の特徴を解明し、幹細胞を使って様々な抗がん剤治療の効果をみる新しい方法を探索していきます。</p> <p>方法</p> <p>乳がん診断の為に、腫瘍の一部を取る“生検”が必要です。今回の研究は、この生検の際に採取した組織の一部を使用します。この組織を元に、スフェロイド培養という新たな三次元培養方法により、乳がん幹細胞の培養・増殖を行います。この培養した幹細胞を用いて、薬剤感受性試験を計画しています。この方法が確立すると、個々の乳がん症例において最適な治療薬選択が可能となります。本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は、年齢、閉経状態、診療情報等 です。</p> <p>（個人を特定可能な情報は解析に用いません）</p>	
共同研究機関	旭川医科大学 薬理学講座 中山 恒
<p>広島大学に情報を集め（研究責任者 岡田 守人）が解析します。</p> <p>また、その後、旭川医科大学薬理学講座で、細胞実験や生化学的解析の補助を行う予定です</p>	
試料・情報の管理責任者	広島大学教授 岡田 守人
試料・情報の他機関への提供および提供方法	<p>同意文書において、「東京医科歯科大学」へ提供するとしていましたが、研究者の異動により、旭川医科大学薬理学講座へ提供することになりました。提供方法については、これまでと変わらず個人が特定されることがないように匿名化をして提供します。</p> <p>個人情報の保護について</p> <p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	